

10077筆の署名提出 ご協力ありがとうございました

六甲病院の存続・充実を求めた署名にご協力いただきありがとうございました。

2月13日と3月27日に県知事への要請と署名の提出を行いました。（国家公務員共済組合連合会本部には2月提出、残りは4月に提出します。）引続き、国、連合会本部などの動向を見ながらさまざまな取り組みを行いますのでご協力をお願いします。

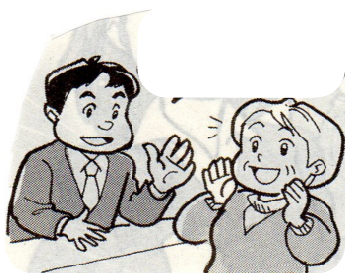
声をしっかりと受けとめて下さい



署名の提出（2月13日）

兵庫県への要請は、2月と3月の2回にわたって行いました。「国が医療費抑制のために公的病院の縮小を進めていることに大きな不安をもっているから短期間で多くの署名が集りました。」地域の方々からは「六甲病院には子どもや議母も大変お世話になった」「終末期の緩和ケア病棟（ホスピス）の世話になりたい。」などと寄せられた声を紹介して署名を提出しました。

県として 六甲病院の存続を決めて下さい



要請では、署名の一筆一筆の思いをしっかりと受けとめ「地域医療調整会議で県として六甲病院を公的病院として存続を決定して下さい」と申し入れました。県担当課長は神戸圏域地域医療構想調整

会議の事務局を担当している神戸市にも、これだけ署名が提出されたことを伝えます。地域調整会議での議論を受け止めますと表明しました。



尚、国家公務員共済組合連合会は「今は統廃合などは考えていない。市や県と協議し地域医療継続への調整をしているところ」と回答しています。詳細は裏面参照

発行 六甲病院の存続・充実を求める住民の会

国家公務員共済連合会病院労働組合 六甲病院支部

兵庫県医療労働組合連合会

連絡先 TEL 078-821-4484 2020年4月

今は統廃合など考えていない

市や県と協議し地域医療継続への調整をしているところ

六甲病院を経営している国家公務員共済組合連合会は、3月6日に行われた労働組合の要請行動に以下のように応えています。



連合会本部は 厚労省の公的病院の縮小に対して「地域医療構想調整会議において、これまで地域のニーズに充分対応してきたということをしっかり主張してまいりたい」

六甲病院が果たしてきた役割というのは、評価していますし、今、果たしている医療が継続されることは必要であるという認識はもっています。だから、決して統廃合という言葉が先行しておりますが、なくしてしまうとか、どっかに一緒となってしまうとか、そういったことは基本的には、今の時点では考えていません。どうやって、未来においても、今やっている医療の継続ができるかといった中で、いろいろ、これまで意見を寄せてもらっているのがありますので、それを参考にしながら、検討しているという段階です。

新型コロナ対策 公的病院こそ役割発揮を

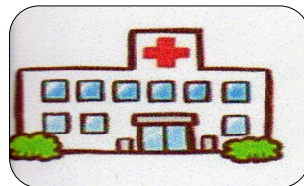


新型コロナウイルスの感染拡大で不安と混乱が広がっています。国民の暮らし支援や検査体制の強化が求められています。ところが国は、「9月を目途に、公的病院統廃合再検証の結論を出す」と、医療費や病床削減の方針は変わっていません。

公的病院は税制上の優遇措置も受けていますので、不採算であっても、一定地域ニーズに応えることや、災害対策などに応えることが可能です。今回のような、感染対策にも、公的病院として地域住民のいのちと健康を守るために役割を果たすことが必要です。

連合会の責任で建て替えを

患者アンケートや地域の意見では、六甲病院は「ベテラン看護師さんがいて何でも相談に乗ってくれる」「親切な対応がよい」と合わせて、「建物が古い、建て替えできないか」の声を多数頂きました。



国家公務員共済組合連合会は、住民の声に耳を傾けるなら、医療の削減や利益を優先する民間病院にベットを売り渡すことなどあってはなりません。同時に六甲病院の建て替えにむけて計画的に資金積立を行うこと事が重要な課題となっています。